

# マイサークル

白石シニアスポーツ少年団野球クラブ

151

～中学生諸君! めざせ甲子園～



当クラブは、学校週五日制導入に伴う地域型スポーツの受け皿として発足し、活動しています。

白石市内5校の中学校の生徒が参加し、交流を深めながら野球を楽しんでいます。

クラブ員を優先に練習・試合をしていますが、誰でも自由に参加できます。また、野球部を休部している白川中学校の当クラブ員佐藤茂夫君は、中体連新人戦の卓球個人戦で優勝しました。このように、いろいろな競技を経験することもできます。

昨年は、結成3年目で県大会優勝の偉業を成し遂げ、白石の名前を宮城県下にとどろかすことができ、近隣3県の中学生野球の開催を容易にしています。

クラブ員全員が白石市内の高校に進学し、甲子園の土を踏むことを目標に活動しています。

各中学校クラブ員、または及川(☎090-8922-9044)まで。

# 市民文芸

**応募方法**  
一人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0257白石市字亘理町37-3、白石市情報センターへ。はがき1枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。  
Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

## 歌壇

岩崎 聰之介 選

万歳の峠のさくら藤蔓に枝からまれて裂かれ  
んばかり 岩松 貞子  
添ふる手に物言ふごとく影ゆらし精霊舟がわ  
れを離るる 鈴木 和江  
さはさとは風出でし庭にコスモスの揺れて紅  
白秋奏でをり 高子うこん  
姑在りし頃に来はじめし越中の富山の葉売り  
この頃見えず 平間 久子  
古里の墓地はいつしか広がりてとまどい連る  
秋雨の丘 石田みどり  
夕暮は夏の終りを惜しむごと目の落つるまで  
蝉鳴きつづく 太田 敏子  
長雨の合間に播きし白菜の芽の出で来しが虫  
に喰はれつ 阿部みさ子  
こつこつとうなひし畑に白菜の種まき終りし  
ばしの安堵 斎藤タカ子  
早々と目覚めて前の畑見廻りぬ夜明けの冷氣  
胸に吸いつつ 佐藤 ひで  
車にて田んぼの道をゆきゆくに今年の不作ま  
のあたり見ぬ 佐藤 とく

**評** 一首目。蔓が隣りの主幹にも絡みつき、己の渡ってきた太枝を裂くばかりに引き寄せられているであろう。自然の営みを活写。二首目。よく見る景ではあるが、繊細に火影をとらえ、先祖の魂送りを詠んだ。三首目。第四句の工夫があつて、一首に動きを与えている。

## 俳壇

遠藤 秋尾 選

不器用に踊るが故に目立つなり 山家 弘子  
笠深くうなじ美し踊りかな 日下 文  
秋霖の白石城も又良かり 鈴木 民子  
芋煮会蔵王の水に鍋洗ふ 制野 リエ  
とりどりの花野の花の名は知らず 佐藤 周子  
青空の一日ありて蟬時雨 大庭 良子

## 柳壇

山田 風流 選

飽食へ食える俵せ忘れかけ 草野 清  
メールでは誠意見えないプロポーズ 平間 大恵  
エリートのの自負にまさかの肩たたき 四電 英夫  
貧乏にふれず福耳ほめられる 大庭 良子  
異常気象松茸ばかり大豊作 佐藤 尚志  
孫帰りなんと静かな老い二人 水戸 光穂  
孫帰省庭木の剪定後まわし 佐久間とみ子  
よい返事義母の一日無事祈る 米沢 礼子  
夏休み最後の三日にツケが来る 阿部みさ子  
物忘れ語り合つて茶飲み友 阿部はぎの

**評** 一句目。毎日心配せずに食べられることは当たり前のことのようにだが、凶作や戦争がないせいでは。平凡の内に幸せあり。二句目。メールでのプロポーズは手間暇いらず。だが心の蓄積と過程を省略しては味気ない。三句目。窓際族ならいざ知らず、エリートといえどもリストラにあう。景気回復を祈るや切。冷夏、長雨のせい、これに関する句が多く見られました。

虫の声耳うたがいし夜半かな 福原 峯子  
ベトナムの娘らと交流芋煮会 高子うこん  
鳳仙花庭にはじて咲きにけり 木村のぶ子  
稲の穂の軽るく冷たき日の続く 遠藤 忠臣

**評** 一句目。踊りは盆踊りのことである。踊り上手は目立つのだが、不器用に踊る人に衆目が集中するのであろう。上手な俳句である。二句目。これも踊りの句。踊り手の後ろ姿に美しいと感じたのであり、笠を深くかぶっているが故にうなじが印象的で踊りのしなも良いのである。三句目。秋の長雨を秋霖という。秋雨の白石城の景もまた美しいのである。白石を愛しお城を誇りに思う作者である。

# International Corner

毎年11月の第1火曜日は、オーストラリア人にとって一番大切な火曜日です。この日、午後3時10分になると仕事や勉強を一時中断して、じっとテレビを見つめることがあります。

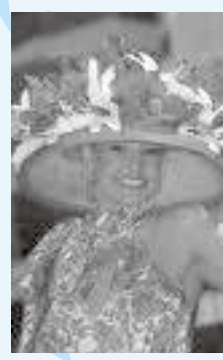
この時間に一体何が起こるのでしょうか？

実は、3時10分にメルボルンのフレミトンで「メルボルン・カップ」という競馬レースが行われます。オーストラリアの人々はギャンブル好きだと誤解しないでください。でも、確かに普段ギャンブルをしない人たちも(私も含めて)、この日必ず馬をかけたか、スウィープ(sweep)という特別のかけをオフィスや仲間で行ったりします。

メルボルン・カップは、世界3大レースのひとつで、1861年に始まって以来、一度も中止したことがありません。このイベントは、いつの間にか国民的

な行事になって、メルボルンではこの日が祭日になっています。

メルボルン・カップのもう一つの特徴は、ファッションです。イギリス貴族にとって、競馬場は「社交場」ですから、老若男女を問わず、皆華麗な服装で集まって来ます。女性の方は前の年から準備する人もいて、特にこの日のために特注の帽子を作ります。競馬場に行けない人たちも、レストランや自分の家でメルボルン・カップ・パーティーを開き、華麗な衣装と帽子で参加しています。男性の方はすべてタキシードだから、この日だけかっこよく見えます。



## 白石市制施行50周年

# 記念事業ニュース

『白石の風景50選』写真募集期間延長のお知らせ



四季を盛り込んだ作品を応募いただくため、来年1月31日まで募集期間を延長します。

あなたが50年後に残したい風景をぜひご応募ください。

○応募点数 一人何点でも応募可能。  
○作品の大きさ サービスサイズ以

上四ツ切(ワイド四ツ切可)まで。  
○作品の形式 モノクロ、カラー、デジタル、ともに単写真。  
○応募条件 平成12年以降の撮影で、四ツ切(デジタル写真はA4)以上の引きのばしや出力に耐えられるもの。  
○応募資格 市内に在住または通勤、通学され、当市を愛している方  
○応募方法 作品裏面に住所、氏名、電話番号を記入し、応募票(私製可・記念事業ホームページからもダウンロード可能)を添付の上応募。  
●応募・問い合わせ先 〒989-0222 白石市鷹巣字鳥喰50 白石の風景50選実行委員会事務局☎22-1290(ホワイトキューブ内生涯学習推進室)  
※作品は総務課でも受け付けます。

50周年記念事業全般のお問い合わせ  
総務課 ☎22-1331  
記念事業などに関する情報・お知らせは市庁舎1階ロビー掲示板やホームページでもご覧になれます。  
<http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/50anniv/>

## 協賛事業を募集しています

詳しくは50周年記念事業連絡会議事務局(市総務課内)まで。  
【11月に行われる協賛事業】  
◇白石市農業祭 11月1・2日(土・日)ホワイトキューブ  
◇白石柿もぎ&干し柿体験 11月8日(土)大平森合地内  
◇スパッシュランドしろいし水泳大会 11月9日(日)スパッシュランドしろいし  
◇あしたば白石まつり 11月15・16日(土・日)あしたば白石  
◇学び座「ソーランの歌が聞こえる」上映会 11月16日(日)ホワイトキューブ  
◇なんでも選手権大会(卓球の部) 11月30日(日)勤労者体育センター